

第 271 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【 令和 7 年 10 月 14 日（火）開催 会場：Tech Hub Yokohama 】

1. 株式会社PROVIGATE 代表者 関水 康伸 氏

[\(https://provigate.com/\)](https://provigate.com/)

発表者 検体検査事業本部 本部長 武田 慶胤 氏

【住所】東京都文京区向丘2-3-10 東大前HIRAKU GATE 5F 【設立】2015年 3月

【資本金】140,000 千円

【事業概要】 弊社は、在宅週次グリコアルブミン（GA）検査を核とした糖尿病の発症・重症化予防を目的とした、行動変容を促す週次血糖モニタリングシステムを開発しています。

既に展開している法人向けヘルスケアサービスでは、アプリで検査結果や週次アクティビティを確認し、医療系専門職サポーターのガイダンスとサポートで継続的な伴走支援を提供します。これにより、利用者が自身の状態を可視化し、主体的に生活習慣を改善できる環境を整えます。現在、在宅 POCT 機器・センサーの開発を進めており、医療現場と在宅の双方で活用可能な血糖管理の標準化を目指します。また産官学連携を通じて、国内外での週次 GA モニタリングの普及を推進しております。

【コメント】 同社は東大発ベンチャー企業。現在、日本における糖尿病予備軍は成人の約 2 割（約 2000 万人）と言われております。糖尿病は日本の医療費を大きく押し上げる主要疾患の一つ。その理由は治療が長期化し、医療費が重くなりやすいからです。糖尿病は発症の要因が様々であるため、同じ生活習慣でも発症する人としない人がいます。糖尿病は『自己責任の病気』と勘違いされているのが最大の障壁です。今、糖尿病患者にとって必要なことは自身の血糖値を測定して、全体像を把握し、行動変容を導くための正確な血糖モニタリングシステムです。同社のシステムを活用すれば発症・重症化の遅延及び進行防止に繋がり、将来の医療費削減に期待が持てます。



2. 株式会社 S&K バイオファーマ 代表者 加賀谷 伸治 氏

[\(https://skagayasandk.wixsite.com/website\)](https://skagayasandk.wixsite.com/website)

【住所】神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西棟 Tech-Pot 内 【設立】2020 年 4 月

【資本金】38,500 千円（準備金含む）

【事業概要】 当社は、安全性の高い糖タンパク質であるラクトフェリンの新規分子標的を発見し（特許出願）、それが原因となる疾患の治療薬としてラクトフェリンの医薬品開発を行う。また、ラクトフェリンは血中安定性が低いため、ヒト IgG の Fc 領域やヒト血清アルブミンを融合させた 2 種類のラクトフェリン融合タンパク質の開発し、特許を出願している。第一開発疾患は、ラクトフェリンのコンドロイチン硫酸 E の中和作用が機序となる脊髄損傷の治療薬として開発を行う（今年度中に POC 獲得終了予定）。第 2 開発疾患以降は、NETs 過形成が原因となる敗血症、指定難病の自己免疫性肝炎の治療薬として開発を行い、適用拡大を順次進める。

【コメント】 同社は東工大発ベンチャー企業。脊髄損傷は 20 歳代と 60 歳代に多く、一度、受傷してしまうと排泄管理や疼痛などの健康問題が起き、復職を難しくしている疾患。その結果、社会復帰が難しくなり、経済活動の損失にも繋がっています。いまだ決定的な治療法が確立されていない深刻な疾患でもあり、年間の損失費総額は 3,500 億円にもなるそうです。改良型ラクトフェリンは急性期から慢性期までの幅広い治療薬として開発を行い、他疾患への適応拡大を行い続けることで、2040 年までに世界トップ 10 の医療薬のシェア 20%を目指していきたいそうです。

3. 株式会社アキューゼ 代表者 川喜多 仁 氏 [\(https://aquze.com/\)](https://aquze.com/)

【住所】茨城県つくば市並木 1-1 【設立】2017 年 11 月 【資本金】13,000 千円

【事業概要】 物質・材料研究機構の研究成果の一つであるモイスチャーセンサの技術移転・社会実装を主な目的として設立、国研発ベンチャーとして認定。これまでに市場調査・市場開拓のため、モイスチャーセンサのレンタル・コンサル事業を中心に活動を行ってきた。近年、結露検知・蒸散計測に関する事業に注力。特に建設・建物業界で導入が進みつつある。

経営理念：『More Sensing, Better Conditioning』

質・量ともにたくさんのセンシングを行うことで、生物や環境をよりよい状態にする。

【コメント】 同社のわずかな水を捉えることが出来るモイスチャーセンサの動作原理は、①シリコンチップ上に配置された金属の溝間に微小水滴がつくことで水分検出が出来ること、②約 0.02 秒で検出可能、③他のやり方と比較しても性能低下はほぼなく、シンプルな構造で量産性も高いそうです。産業界では窓や壁の結露計測、植物の蒸散から収穫量を測定・予測に使われており、医療健康分野では熱中症や脱水症のリスク判定への応用を期待されています。2033 年には環境センサの市場規模は 3 兆円となる見込みなので、今後のターゲットとしては自動車、医療、半導体、航空宇宙分野にまで拡充していきたいそうです。



【感想】 今回の発表会は開催直前までお申し込みが入ってきて、皆さんの関心度が高いと感じました。交流会では、盛んな情報交換がされていました。どの発表企業も各々の分野でイノベーションを起こし、新しいマーケットを構築されようとしていて、今後の展開が楽しみです。もし発表をご希望とされる方がおられましたら、事務局までお問い合わせ頂けると幸いです。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆
第 272 回 MINERVA ビジネスプラン発表会■日 時：令和 7 年 11 月 11 日（火）13:30～15:00
■会 場：Tech Hub YokohamaNPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA
（株）TNP パートナース、（株）TNP オンザロード
（株）TNP スレッズオブライト 井 汲 美 樹